日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワークは、市議会意見書運動を展開していた関西のグループが情報交換の場として2009年5月に立ち上げました。以降、2005年から大阪駅前で行われていた水曜集会を引き継ぎ、街頭で「慰安婦」問題の解決を訴えて活動してきました。安倍政権や大阪市橋下市長、吉村市長による暴言と歴史歪曲に対する抗議行動、右派による集会妨害行為に抗する闘いなど、次々に起こる困難との闘いでした。そうしたなか、韓国、中国、フィリピン、インドネシアのサバイバーの皆さんが来日し、辛い体験を証言し、歴史の事実を明らかにしてくださいました。今もアジア各地に多くの被害者がおられます。私たちはこれからも「被害者中心の解決」を求めていきます。

2015年12月の「日韓合意」は被害者を置き去りにし、安倍政権は「最終的かつ不可逆的に解決」したとすることで「慰安婦」問題をなかったことにしたいのです。韓国で政権が交代して「被害者中心の解決」を発表するや「ゴールをずらす韓国」などと解決できない責任を押し付け、メディアとともに反韓キャンペーンをくり返しています。

金学順さんから始まった「#Me Too」が広がり、その活動によって戦時性暴力は女性の人権問題として世界的課題となっています。金福童ハルモニと吉元玉ハルモニは世界各地の戦時性暴力被害女性たちを支援する「ナビ基金」を提起されました。「ナビ基金」はコンゴ、ベトナム、ウガンダ、ナイジェリアで、ISによって、被害を受けた女性を支援しています。

サバイバーの声を聞いた私たちはしっかり記憶し、次の世代に繋いでいく責任があります。そして戦争のない、性暴力のない、女性の人権が守られる社会をともにつくりだしていきましょう！

Ⅰ部

吉元玉（キル・ウォノク）ハルモニ

1928年平壌生まれ。13歳の時「工場で稼がせてやる」と騙され付いて行った所はハルピンの慰安所だった。性奴隷生活の中で性病に罹り家に帰される。翌年、最初に騙した男に偶然出会い、捕まって再び石家荘の慰安所に送られる。

戦後ようやく帰国したが、お金もなく故郷には帰れなかった。1998年、被害を申告。以後平和・人権活動家として活動している。歌が上手なハルモニは2017年「吉元玉の平和」でCDデビューした。

尹美香（ユン・ミヒャン）さん

韓国・日本軍性奴隷制問題解決のための正義記憶連帯（正義連）代表

韓国挺身隊問題対策協議会（挺対協）の結成時から被害者の声を聞きとり、被害者の支援活動とともに韓国内外で活動を続けている。2017年「日韓合意」を無効化するための正義記憶財団と挺対協は統合し、正義連として発足

Ⅱ部

公演

ハンマウム（農楽隊）

志遠（チウォン）

たこちゃんきょこちゃん（デュオ）

トーク

若者たちの本音

賛同のお願い

関西ネットはこれからも「慰安婦」問題の解決を求めて活動を続けていきます。今回の集いの開催にあたり連帯・応援の賛同をお願いします。

個人一口　500円（2口以上でお願いします）

振込先　00980－3－209232

名義　日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク